

# グンゼコレクション特別展

浮世絵に描かれた

宮中の養蚕と製糸業の近代化



開催期間 10/15(土)～10/23(日)

時間 10:00～15:00

場所 グンゼ博物苑 未来蔵2F  
京都府綾部市青野町膳所1番地





## 浮世絵に描かれた 宮中の養蚕と製糸業の近代化

浮世絵の題材として美人画や風景画、見立て絵等が描かれる中で、天皇や皇后の皇室も数多く描られました。明治政府の蚕糸業奨励を背景に雄略天皇に端を発し昭憲皇太后が始められた宮中での御親蚕も人気の題材でした。当時、大衆は実際に見ることのできない宮中を浮世絵で想像し楽しんだそうです。グンゼが所蔵する数々のコレクションの中から今回の特別展では、この時代の人々の関心が高かった皇室をはじめ、明治維新以降に急速に発展した近代化にまつわる作品を展示します。華やかな皇室や近代化で活気に満ちた時代の歴史をお楽しみください。



歌川国明(二代目)(1835-1888)『千代の栄蚕之養ひ』

宮中で皇后が見守る中、女官たちは小袖の着物に朱の袴、たすきがけ、髪は後ろ1ヶ所でくくった「おすべらかし」の姿は、宮中での養蚕が古くからの伝統であることがわかる。



翠軒竹葉(生没年不詳)『宮中養蚕之図』

軍服姿で椅子に座り女官たちを見守る明治天皇。その傍らに立つ皇后は裾の広がったスカートで頭には羽飾りの帽子を身につけている。作業をする女官も全員洋装であり、服装からも日本の近代化が感じられる。

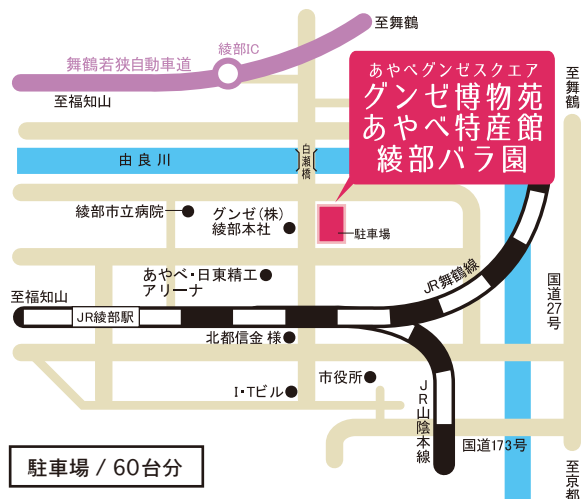


作者不詳

明治10年(1877)に上野で開催された第1回内国勸業博覧会で工部省工作局が東京赤羽分局製・フランス式繰糸機を実演した様子が描かれており、機械の進歩による近代化が垣間見える。

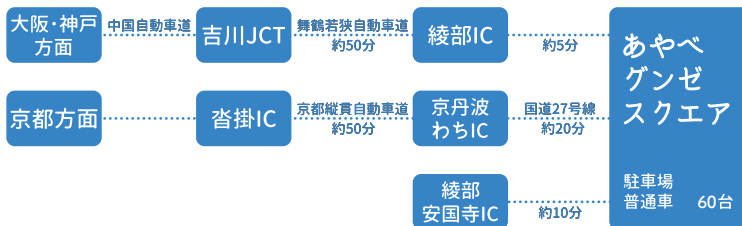


明治29年に創業した郡是製糸株式会社は、近代化を積極的に推し進めた。大正6年には「经营理念」「従業員教育」「地域貢献」が評価され、民間企業として初の貞明皇后による行啓を賜った。



駐車場 / 60台分

〒623-0011 京都府綾部市青野町「あやべグンゼスクエア」内  
TEL 平日 0773-42-3181 土日祝 0773-43-1050



### < 交通のご案内 >

●電車で JR山陰本線 綾部駅より徒歩約10分 ●お車で 舞鶴自動車道 綾部ICから車で約5分

綾部駅北口から徒歩約10分  
または綾部駅南口からあやバス  
「あやべグンゼスクエア前」下車すぐ

あやべ  
グンゼ  
スクエア

あやべ  
グンゼ  
スクエア